

学生の活動紹介

生活文化デザイン学科展

生活文化デザイン学科では、毎年「学科展」を仙台中心部の施設で開催し、卒業論文・卒業設計を中心に、全学年の学習・課外活動の成果を幅広く展示しています。「環境・文化・社会」に関する多様な視点からライフスタイルをデザインする生活文化デザイン学科ならではのユニークな作品が並びます。2025年度はせんだいメディアテーク5Fギャラリーにて開催し、多くの来訪者で賑わう数日間となりました。



最大成の学科展!!



工場カフェテリアのリノベ

仙台市の精密機器メーカーの工場には従業員のためのカフェテリアがあります。この少し古くなったカフェテリアのリノベーションを生活文化デザイン学科の都市・建築設計研究室で行いました。約2年をかけて、利用者へのアンケート、担当部署との打ち合わせをおこない、学生が中心になって設計をまとめました。その後、改修工事を経て、2024年2月に新しいカフェテリアが誕生しました。

インテリア設計を実践!

仙台ふるさとの杜再生プロジェクトの育樹活動

東日本大震災の津波で被害を受けた沿岸部のみどりの再生を市民協働で取り組むプロジェクトに参加しました。沿岸部の震災復興の現場を知ること、市民による復興まちづくりの取り組みを体験することが目的です。荒浜園地に居る根として植えた広葉樹の苗木周の除草を海岸林育樹サポーターの方々と一緒にに行いました。



生活文化デザイン学科 L学会

L学会は、本学科の学生、大学院生、教職員が学びながら交流する集まりです。活動は学内だけでなく、日帰り研修旅行、講演会など、卒業とは一味違った体験活動がもりだくさん。2025年度は北海道函館市を訪れ、歴史的な町並みのなかでワークショップを行いました。



キャリア研究会

キャリア研究会は、就職活動を体験的な学習の機会と捉え、その経験をサポートするために設置しました。学生が自ら企画・運営し、体験学習・集団学習・ピアサポート学習・研究会を通して、より主体的に就職活動を進める支援します。社会で活躍しているOGとのネットワークも形成されています。



全国都市緑化フェア/ピクニックパーク

青葉山公園で行われた全国都市緑化仙台フェア2023の芝生広場の活用促進と滞在快適性向上のために、タープテンやハンモック、ラグなどの「ピクニックパーク」を5日間設置し、約764人の来場がありました。芝生空間の使い方の観察調査やアンケート調査を行いました。

コンペティションへの参加

生活文化デザイン学科では様々な公募の設計競技に参加しています。2024年には第48回全国育樹祭典用ステージアイデアコンペティションにおいて生活文化デザイン学科の学生が優秀賞を受賞しました。

2024年度第48回全国育樹祭典用ステージアイデアコンペティション 優秀賞「未来樹樹」 田中佑月 熊澤佳奈 菊池優々

2020年度 全国学生デザインコンペ入賞「SCAN AI融合型ビル」松田投歩美

2018年度 全国学生デザインコンペ 奨励部門賞「湯馬車」川又理紗



定禅寺リビングストリートマルシェ

ケヤキ並木と歩道の活用を進めるまちづくりグループ「定禅寺リビングストリートプロジェクト」のメンバーとして、3年ぶりに企画し、出店者への依頼やチラシのデザイン、ブース出店と会場運営を行いました。スマートフォン作りワークショップは親子連れに人気でした。

科目紹介

専門基礎科目(実践系)



製図基礎演習

平行定規と製図用筆記具を使って、実物の設計図面のトレース(図面を写すこと)を行います。建築建物の設計図面を作成したり、設計図面から実際の空間を読み取るスキルなど、建築設計の基礎を学びます。

専門基礎科目(実践系)



CAD演習

コンピューターを使った建築設計図面の作成を通して、効率的な図面の作成から、3次元イメージ作成の手法などを習得します。建築設計におけるコンピューターの活用方法を学びます。

専門基礎科目



被服構成実習

衣服の実製作を通して、洋服と和服の構成への理解を深め、生地選びや基本的な縫製技術を学びます。スカート、ブラウス、浴衣などの製作に取り組みます。

専門基礎科目



建築デザイン演習 I~IV

建築とインテリアについて、敷地・周辺環境・ライフスタイルなどを考慮しながら、その建築や空間が果たすべき役割への理解を深め、自分のアイデアをかたちにする設計手法を学びます。

専門基礎科目(実践系)



環境文化見学実習

国内外の国や地域を訪問し、その土地々に育まれた独自の環境・暮らし・デザイン・文化・歴史について、現地ですべてに体感しながら、理解を深めてゆきます。

専門基礎科目



家族社会学

ライフコース(生き方)やジェンダーの視点から家族と社会のあり方を考えます。このような学びから恋愛・結婚観、親子関係、高齢社会などを研究します。

専門基礎科目



生活造形実習

テキスタイル制作を体験する実習です。羊毛から糸を作る所から始め、織機で布を織ったり、絞り染めを行ったりと、実際の手仕事を通して生活造形の価値を考えます。

専門基礎科目



建築計画

人間・環境の視点において、空間と社会との関わりを高層者施設、病院、図書館などの計画・設計を通して説明し、設計計画の方法論を習得するための授業です。授業の一環として、各種建築見学も実施しています。

専門基礎科目



ビジュアルデザイン演習

書籍の表紙やオリジナルブックなどのグラフィックデザインの制作実習です。イメージの発想から定まるまでを体験する事に加え、デザインコンセプトを具体的な音楽で伝える力も養います。

専門基礎科目



消費経済学

経済成長を優先する今日の大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムの下、消費の個別化・多様化の進展によって引き起こされている問題を学びます。

専門基礎科目



服飾美学

ファッション文化への理解を深めるため、現代アートと服飾、デザイナーたちの思想、流行の仕組み、時代と美意識、男性性・女性性の表現などの切り口から服飾を研究します。

時間割モデルケース

2年生の一週目

Table showing a weekly schedule for a 2nd-year student. It includes subjects like '生活文化・地域社会' and '建築・インテリア' across days of the week.

建築・インテリアコース

Table showing a weekly schedule for a student in the '建築・インテリア' course. It includes subjects like '生活文化・地域社会' and '建築・インテリア'.

建築環境学 I, II

建物の中で過ごす人々の健康や快適性に関わる「空気」「熱」「湿気」「音」「光」といった居住環境要素の原理・原則を理解し、それらの評価方法や制御技術についても学びます。

教員及び研究室の紹介

大久保 尚子 教授 日本服飾史服飾美学研究室

服飾文化、生活文化、装飾デザインについて研究を進めます。デザイナーの活動、江戸文化、サブカルチャーとファッションなど各自のテーマを掘り下げ、みんなで議論します。



佐藤 芳治 准教授 都市デザイン研究室

都市は、住む・働く・遊ぶなどの営みが織りなす生活の舞台であり、そこで刻まれる時間が文化となって次代へ引き継がれます。まちづくりの現場を通して人の活動を中心とした都市のテーマを探究し、分析・提案していきます。



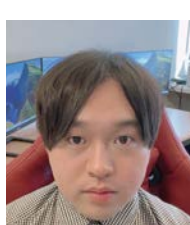
長谷川 麻子 教授 建築環境・設備学研究室

住宅や学校など建物のタイプや性能、空調、換気設備の設置・運用状況などを調査し、人々の健康を守るための室内空気・温熱環境について研究しています。



林 瑞紀 助教 建築計画学研究室

建築空間を利用する人々の取り巻く環境を理解し、建築のあるべき姿を考える建築計画を研究しています。卒業研究では、実際の都市や建物を対象として、どのように人々が空間を利用しているかを調査分析することで、建築空間のあり方について考察していきます。



藤田 嘉代子 教授 家族社会学研究室

ジェンダー論や家族社会学、特にケアの家庭内外での分担について研究しています。当ゼミでは大学祭でブースを出して卒論用のデータ集めをします。卒業研究のテーマは家族子ども、若者、恋愛、少女マンガなど毎年多彩です。



洞口 苗子 助教 建築・インテリア研究室

建築・インテリア/ランドスケープの設計・デザインを横断的に学びながら、地域資源や生業(なりわい)の調査も同時に行います。ゼミでは建築、施工現場見学、ローカル素材の探求、建築、設計実務等を通して、「地域」を豊かにするデザインについて実践的に探求します。



安田 直民 教授 都市・建築設計研究室

建築物の設計を専門にしています。ゼミでは様々な建築物の設計プロセスを、設計実務や現場を通して学びます。卒業研究では、自宅の改修から音楽ホール設計、さらには景観法の研究まで多彩です。



副手・授業補助スタッフ

亀谷 恵美 (副手) 五十嵐 里香 (授業補助) 高橋 真美 (授業補助) 小川 真理 (授業補助)

卒業生

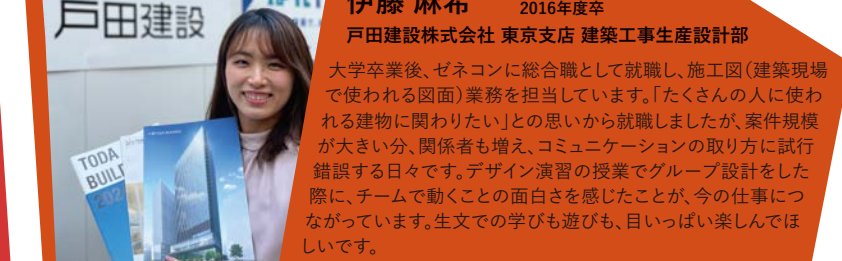
柳 知佳子 2007年度卒 株式会社ワンハウス仙台支店

就職活動中に憧れだった家具屋さんで就職して出店する事を知り、運よくその会社に就任しました。働きながら結婚や出産を経験し、現在は転職してハウスメーカーのインテリアコーディネーターをしておりますが、自分の人生経験全てを活かせる仕事だと思います。学生時代に建築を学んだ経験も活かし、ただ見目を良くするだけではなく生活をより豊かに出来るインテリアをご提案する為日々精進していきたいと思っています。



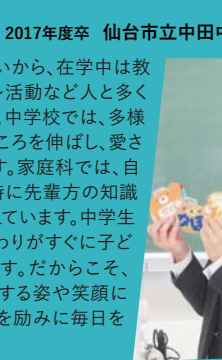
伊藤 麻希 2016年度卒 戸田建設株式会社 東京支店 建築工事生産設計部

大学卒業後、ゼネコンに総合職として就職し、施工(建築現場)で使われる図面業務を担当しています。「たくさんの人に使われる建物に関わりたい」との思いから就職しました。案件規模が大きくなり、関係者も増え、コミュニケーションの取り方に慣れ、現在では転職してハウスメーカーのインテリアコーディネーターをしておりますが、自分の人生経験全てを活かせる仕事だと思います。学生時代に建築を学んだ経験も活かし、ただ見目を良くするだけではなく生活をより豊かに出来るインテリアをご提案する為日々精進していきたいと思っています。



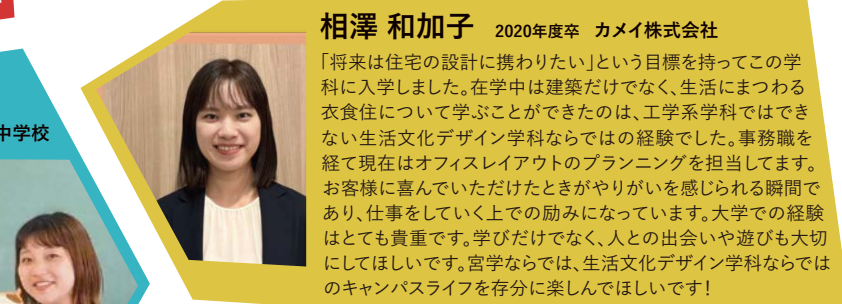
松縄 夏帆 2017年度卒 仙台市立中田中学校

「人生のポケットを増やしたい」という目標を持ってこの学科に入りました。在学中は建築だけでなく、生活にまつわる衣食住について学ぶことができたのは、工学系学科ではできない生活文化デザイン学科ならではの経験でした。事務職を経て現在はオフスレアウトのプランニングを担当しています。お客様に喜んでいただけたときがやりがいを感じる瞬間であり、仕事をしたい上での励みになっています。大学での経験はとても貴重です。学びだけでなく、人の出会いや遊びも大切にしています。宮学ならではの、生活文化デザイン学科ならではのキャンパスライフを存分に楽しんでほしいです!



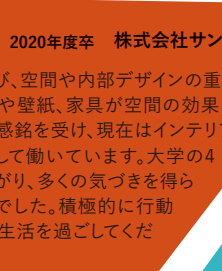
相澤 和加子 2020年度卒 カメイ株式会社

「将来は住宅の設計に携わりたい」という目標を持ってこの学科に入りました。在学中は建築だけでなく、生活にまつわる衣食住について学ぶことができたのは、工学系学科ではできない生活文化デザイン学科ならではの経験でした。事務職を経て現在はオフスレアウトのプランニングを担当しています。お客様に喜んでいただけたときがやりがいを感じる瞬間であり、仕事をしたい上での励みになっています。大学での経験はとても貴重です。学びだけでなく、人の出会いや遊びも大切にしています。宮学ならではの、生活文化デザイン学科ならではのキャンパスライフを存分に楽しんでほしいです!



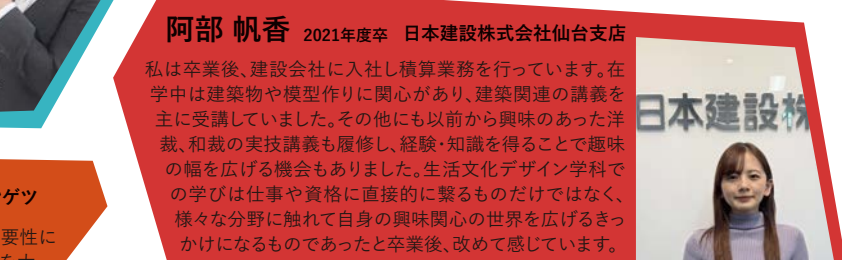
渡辺 知果 2020年度卒 株式会社サンゲツ

大学で建築を学び、空間や内部デザイン的重要性に気づきました。床や壁紙、家具が空間の効果を大きく変えることに感銘を受け、現在はインテリア商社で総合職として働いています。大学の4年間は視野が広がりました。積極的に行動し、充実した大学生活を過ごしてきました。



阿部 帆香 2021年度卒 日本建設株式会社仙台支店

私は卒業後、建設会社に入社し積算業務を行っています。在学中は建築物や模型制作に関心があり、建築関連の講義を主に受講していました。その他にも以前から興味があった洋裁、和裁の実技講義も履修し、経験・知識を得ることで趣味の幅を広げる機会もありました。生活文化デザイン学科での学びは仕事や資格に直結的に繋がるものだけではなく、様々な分野に触れて自身の興味関心の世界を広げることにつながるものであったと卒業後、改めて感じています。



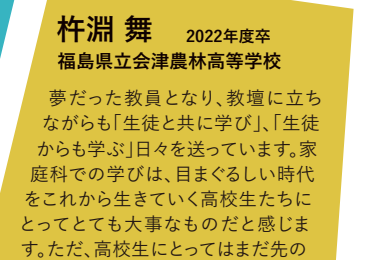
岩谷 諭子 2022年度卒 北秋田市役所

現在は、自治体職員として、ひとり親家庭への支援や児童虐待への対応に携わっています。在学中、「生活」について幅広く学んだ経験は、目の前の相談者に対して偏見なく向き合う姿勢に繋がっていると感じます。専門以外の知識や経験も、業務において大きな糧となっています。



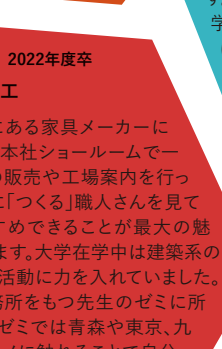
柁舞 舞 2022年度卒 福島県立津島高等学校

夢だった教員となり、教壇に立ちながら「生徒と共に学び」、「生徒から学ぶ」日々を送っています。家庭科での学びは、目まぐるしい時代をこれから生きていく高校生たちにとっても大事なものと改めて感じています。また、高校生としてはまだ先の想像のしにくい自分の未来の学びです。そんな生徒たちに想像がややすく身近に感じてもらえるよう、家族社会学、住生活環境、化学的視点から衣食生活など文系の学びを引き出しながら伝えていきます。



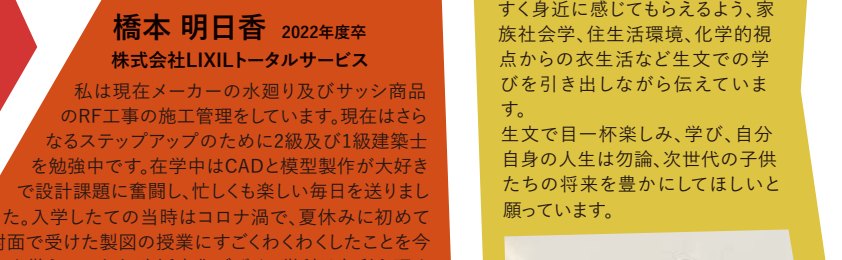
米田 樹雨 2022年度卒 株式会社童木工

私は現在地元にある家具メーカーに勤務しています。本社ショールームで一般のお客様への販売や工場内で行っているお客様におすすめることが最大の魅力だと感じています。大学在学中は建築系の授業やサークル活動に力を入れていました。実際に設計事務所をもつ先生のゼミに所属し、コロナ禍で活動が制限されていたがゼミでは青森や東京、九州に足を運ぶことができました。実際に多くのモノに触れることで自分の興味や将来の目指すべきものを見つけていくことができました。皆さんの学生生活が実りあるものになるよう祈っています。



橋本 明日香 2022年度卒 株式会社LIXIL トータルサービス

私は現在メーカーの水廻り及びサッシ商品のRF工場の施工管理をしています。現在はさらなるステップアップのために2級及び1級建築士を勉強中です。在学中はCADと模型製作が大好きで設計課題に奮闘し、忙しくも楽しい毎日でした。入学した際の当時はコロナ禍で、夏休みも打って対面での授業に満足することができず、今でも覚えています。生活文化デザイン学科は色彩心理学や居心地の良さなどの気持ちに寄り添った建築を学べる場だと思っています。大学生活は一期ですが、その日々は一生ものです。皆さんが豊かなキャンパスライフを送れるように願っています。



篠原 寧々 2023年度卒 新慶冷熱工業株式会社

私は現在、建築設備会社で施工管理の仕事をしています。入学時は住宅設計を目指していましたが幅広い分野の講義を受講していくうちに「地図や人々の記憶に残るような大規模な建物をつくりたい!」という思いが大きくなり今の会社に就職しました。様々な分野に触れ、未来への可能性を広げることができた4年間でした。



LIXIL トータルサービス LIXIL トータルサービス 建築現場



卒業生のコメントは紙面の都合で編集しています。

